

平成21年度

教育委員会の点検・評価  
報告書

平成22年8月

あま市教育委員会  
《七宝地区》

## － 目 次 －

1. はじめに
2. 教育委員会会議の開催状況
3. 教育委員会会議の審議状況
4. 主な事業の取組状況
  - (1) 学校教育課
    - 基本方針
    - 学校経営
    - 主要施設（指導の重点）
    - 具体的な取組状況
  - (2) 社会教育課
    - 文化振興事業
    - 成人式事業
    - 家庭教育推進事業
    - 青少年健全育成事業
    - 文化財保護事業
    - 公民館事業
    - スポーツ教室・講習会
    - スポーツ行事・大会

■スポーツに親しむことができる環境整備

■社会教育施設の基盤整備

(3) 学校給食センター

■学校給食事業

5. 学識経験者による意見

## 1. はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部を改正する法律が、平成20年4月1日に施行され全ての教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととなりました。

また、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされました。

あま市教育委員会では、七宝・美和・甚目寺の地区ごとに、効果的・効率的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすため、「教育委員会点検・評価」を実施し、報告書にまとめました。

## 2. 教育委員会会議の開催状況

教職員辞令交付式 4月1日、翌年3月31日

定例教育委員会 毎月1回 臨時教育委員会 1回

海部地方教育事務協議会 年間5回 (委員長、教育長)

東部四町教育委員連絡協議会 年間3回研修会

学校訪問 小中学校6校

校長会 毎月1回

教育長研修会

学校給食運営委員会 委員長、教育長

就学指導委員会 年間1回

七宝町教育委員会委員（平成22年3月1日現在）

職名	氏名	任期
委員長	にのみや てつや 二ノ宮 鉄弥	平成 8年3月 8日から平成 9年9月30日 平成 9年10月1日から平成13年9月30日 平成13年10月1日から平成17年9月30日 平成17年10月1日から平成21年9月30日 平成21年10月1日から平成25年9月30日
委員長職務代理者	きのした まりこ 木下 万里子	平成13年10月1日から平成17年9月30日 平成17年10月1日から平成21年9月30日 平成21年10月1日から平成25年9月30日
委員	いぬかい ひろみ 犬飼 弘美	平成18年11月14日 から平成22年11月13日 平成22年11月14日 から平成26年11月13日
委員	よしだ のりよし 吉田 法良	平成19年11月1日 から平成23年10月31日
教育長	あおき やすお 青木 靖雄	平成14年10月1日から平成16年9月30日 平成16年10月1日から平成20年9月30日 平成20年10月1日から平成24年9月30日

3. 教育委員会会議の審議状況

平成21年度における七宝町教育委員会の定例会の主な協議事項は、次のとおりである。

開催日	議事・協議事項・報告事項の内容等
平成21年 4月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就学援助費受給申請者一覧表について</li> <li>・ 区域外就学協議について</li> <li>・ 就学申請について</li> <li>・ 区域外就学申請について</li> <li>・ 愛知サマーセミナーの後援依頼について</li> </ul>
平成21年 5月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 七宝町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について</li> <li>・ 就学援助認定申請者一覧表について</li> <li>・ 区域外就学申請について</li> <li>・ ハッスルドライブ 全国学生パフォーマンス GP の後援依頼について</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東ブロック家庭婦人バレーボール大会の後援依頼について</li> </ul>
平成 21 年 6 月 15 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就学援助認定申請者一覧表について</li> <li>・ 公立学校施設整備費補助金に係る財産処分報告書</li> <li>・ 「海部東部四町吹奏楽演奏会」の後援依頼について</li> <li>・ 尾張南部平和美術展の後援依頼について</li> <li>・ 愛知県スポーツ少年大会西尾張支部大会の後援依頼について</li> </ul>
平成 21 年 7 月 21 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 22 年度使用小中学校用教科用図書の採択について</li> <li>・ 就学援助認定申請者一覧表について</li> <li>・ 区域外就学申請について</li> <li>・ 「人権を理解する作品コンクール」の後援依頼について</li> </ul>
平成 21 年 8 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 20 年度教育委員会の点検・評価について</li> <li>・ 就学援助認定申請者一覧表について</li> <li>・ 不登校からの出発の後援依頼について</li> <li>・ 「税金クイズ&amp;アニメ映画会」の後援依頼について</li> <li>・ 海部地区市町村家庭婦人バレーボール大会の後援について</li> <li>・ 七宝・美和・甚目寺スタッフウォーキングの後援依頼依頼について</li> <li>・ 愛知県市町村対抗駅伝競走大会の後援依頼について</li> </ul>
平成 21 年 9 月 16 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就学援助認定申請者一覧表について</li> <li>・ 区域外就学協議について</li> <li>・ 尾張七宝の里散策の後援依頼について</li> <li>・ 美しき海部に関する事業の後援依頼について</li> <li>・ 日本教育技術学会愛知大会の後援依頼について</li> </ul>
平成 21 年 10 月 1 日 (臨時会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 七宝町教育委員会委員長の選挙について</li> <li>・ 七宝町教育委員会委員長職務代理者の選出について</li> </ul>

平成 21 年 10 月 16 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就学援助認定申請者一覧表について</li> <li>・ 区域外就学協議について</li> <li>・ 県民文化大祭典 2009in なごや 博覧会の後援依頼について</li> <li>・ 東ブロック家庭婦人バレーボール親睦大会の後援依頼について</li> </ul>
平成 21 年 11 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就学援助認定申請者一覧表について</li> </ul>
平成 21 年 12 月 15 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就学援助認定申請者一覧表について</li> <li>・ 区域外就学について</li> <li>・ なごやWESTジュニアバンド NANAMI スプリングコンサートの後援依頼について</li> </ul>
平成 22 年 1 月 20 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就学援助認定申請者一覧表について</li> <li>・ 区域外就学について</li> <li>・ 学校の指定変更等に関する判断基準について</li> <li>・ 市町村合併に伴う愛知県教科用図書採択地区の変更について</li> <li>・ 海部東部親善トーナメント軟式野球大会の後援依頼について</li> </ul>
平成 22 年 2 月 22 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就学援助認定申請者一覧表について</li> <li>・ 区域外就学申請について</li> <li>・ 就学校指定変更申請書について</li> </ul>
平成 22 年 3 月 15 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 22 年度教職員定期人事異動について</li> <li>・ 特別支援学級入級について</li> <li>・ 就学校指定変更申請について</li> <li>・ 区域外就学申請について</li> <li>・ 区域外就学協議について</li> </ul>

## 4. 主な事業の取組状況

### (1) 学校教育課

#### ■ 基本方針

- ・ 児童生徒の優れた個性を伸ばし、「確かな学力（知）・豊かな心（徳）・健やかな体（体）」の調和のとれた人間形成を図ります。
- ・ 公共の精神を尊び、自他の協力により創造的で活力に満ちた社会の発展に尽くす態度を養います。

#### ■ 学校経営

- ・ 基本的理念のもと、七宝町立小中学校の学校経営方針を全面的に支援します。

#### 七宝町立小中学校経営方針（主な項目を抜粋）

##### 〔七宝小学校〕

- ・ 表現能力やコミュニケーション能力の向上を基盤として、相手への思いやり、自分の考えをわかりやすく伝えることのできる児童の育成をめざす。
- ・ 「子どもは環境により育つ」という視点に立ち、施設や備品等の整理・工夫をして効率的な学習環境の構成に努める。

##### 〔宝小学校〕

- ・ 全職員が専門職としての自覚と使命感をもち、教育目標の達成をめざして、相互の共通理解と協働のもと、日々教師力・学校力の向上に努める。
- ・ 学習指導要領の趣旨の具体化をめざし、「こなす授業」から「創る授業」の実現に努める。

##### 〔伊福小学校〕

- ・ 教育課程の完全実施と創意を生かした具現化を通して、信頼される学校をめざす。
- ・ これまでの活動、行事など教育財産の継承・発展を通して、特色ある学校をめざす。

##### 〔秋竹小学校〕

- ・ 職員の和を大切にし、学校ぐるみの協力体制、指導体制のもと、全職員が健康で明るく子どもに接し、人間性豊かな子どもの育成に努める。

##### 〔七宝中学校〕

- ・ 基本的人権の尊重が、社会生活の基本であることを自覚させ、温かい人間関係の育成に努める。
- ・ 基礎学力を培い、主体的に学ぶことができる意欲や態度の育成に努める。

##### 〔北中学校〕

- ・ ゆとりある教育活動を展開する中で、「確かな学力」「生きる力」の定着・育成を図る。
- ・ 人に信頼され、人に必要とされる人間としての豊かな市民性と責任感を育成する。

## ■ 主要施策（指導の重点）

- ・ 確かな学力（自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力）、豊かな心（自らを律しつつ、他と協調し、他を思いやる心や感動する心）、健やかな体（たくましく生きるための健康や体力）を育む教育に取り組みます。
- ・ 教師の力量を高めるため、各種の教員研修の場を積極的に活用します。
- ・ 児童生徒の健全育成と問題行動の予防や解決に向け、学校と協力し、組織的に取り組む体制を確立するとともに、個に応じた早期の対応や予防的な生徒指導に取り組みます。
- ・ 「開かれた学校・信頼される学校」を目指し、家庭・地域等と連携・協力して相互に補完しながら、地域ぐるみで児童生徒の育成を推進します。

## ■ 具体的な取組状況

### ア 確かな学力の育成

- ・ 小学校では、基礎タイムや振り返り学習等による基礎・基本の知識（読み・書き・計算）・技能の定着を図るよう取り組みました。
- ・ 特別な援助を必要とする児童生徒一人一人が学習に取り組むために、支援員を配置して、担任とともに個別に目を向けた学習指導を実施しました。
- ・ 児童生徒の個に応じた指導を実施するために TT 指導員を継続して配置し、少人数指導やチームティーチングに取り組みました。
- ・ 宝小学校では愛知県の委託授業「授業名人活用事業」を受け、魅力ある授業づくりに全職員で取り組みました。

**※全国学力・学習状況調査の結果を見ると、基本的な力はあると考えられます。**

**また、少人数指導や委託事業（授業名人）によって、児童・生徒の学習意欲の高まり**

が見られるようになりました。今後は子どもたちの基本的な学習の習慣づけをいかにしていくかが課題となります。

#### イ 心の教育の推進

・中学校では、命を大切にする心を育む取組の中で、心の授業、教育講演会、全校一斉道徳授業などを計画して心の教育推進に取り組みました。

・小学校では、学年を超えた縦の異学年交流活動を積極的に推進したところ、高学年の低学年への思いやり、責任感が育ちました。

・いじめ・不登校・問題行動の早期発見、早期対応に努めるため、月ごとに、いじめ・不登校・問題行動について把握し、関係各機関による情報の共有、支援を進めました。

いじめの実態 平成21年度 小学校1件 中学校2件

不登校の実態 平成21年度 小学校5人 中学校14人

・思春期の生徒の悩み相談に当たるために中学校に心の教室相談員配置を継続しました。

**※小中学校での心の教育推進に関する取組は継続して行っており、子どもたちの意識の高まりが少しずつ見られるようになりました。いじめの認知件数、不登校児童生徒数は減少していません。これらが起こる原因は複雑・多様化しており、現場の先生だけでは解決しません。中学校では、心の教室相談員を配置しており思春期の難しい中学生のケアに努めています。相談件数は数多くあり、今後も相談員の小学校への拡大が課題です。**

#### ウ 生きる力の育成

・小中学校全学年にALTを配置して英語活動と国際理解教育の推進を図り、児童生徒の英語や外国文化に対する興味・関心を高めることができました。

・「あいち・出会いと体験の道場」として、町内の中学2年生198人が延べ30事業所で3日間職場体験学習をしました。この体験を通して、様々な人との交流や体験を積み、豊かな人間性や社会性を育むとともに働くことの意義や大変さを体感することがで

き、将来の進路について考える一助となりました。

**※子どもたちの積極的にコミュニケーションをとろうとする態度が見られるようになりました。また、職場体験を通じて、生徒の協調性や責任感を育むことができ、社会の一員としての自覚を身に付ける有意義な機会となっています。**

#### エ 開かれた学校の実現

- ・学校評議員を活用して、学校運営に関する意見の集約に努めました。
- ・学校評価における自己評価作成にあたり、保護者、地域の人にアンケートをとり意見を集約し、学校経営に生かすよう努めました。

**※地域の方が学校に気軽に来校できる雰囲気できてきました。また、保護者の方から様々な面でサポートをしていただいています。学校評価においては保護者、地域の方の意見を、次年度の学校経営に生かす流れが定着しました。今後も評価項目の検討をして、さらに外部の方の意見が反映されるような評価にしていきます。**

#### オ 安全で安心、快適な学習環境の整備

- ・児童生徒の学習環境を整える目的で、以下の改修工事を行いました。

焼却炉撤去工事（全小中学校）

校舎改修工事（秋竹小学校）

屋上防水等改修工事（伊福小学校）

体育館雨樋及びトイレ改修工事（七宝中学校）

消火栓用配管漏水改修工事（七宝中学校）

地上デジタル放送対応工事（全小中学校）

ICT環境機器整備購入事業（各小中学校）デジタルテレビ(51台)、パソコンリース料(645台)、電子黒板(6台)など

- ・緊急メール配信のシステムを整備しました。これにより、児童生徒の安全に関する事案の発生、災害等の発生及び学校行事の開催状況等に関する情報をすばやく配信でき

ました。加入率はH21.12調査では95%程度となっており、加入率としては非常に高く、保護者にも評判がよい現状です。

- ・ 老人会を中心とした見守り隊の活動も4年目に入り、町内で約450名が登録していただいています。下校時間になると、赤い帽子をかぶり、通学路で見守りを続けていただいております。

**※校舎の耐震化がすべて終わり、子どもたちが安心して学習に専念できるようになりました。合わせてトイレがきれいになるとともに、使いやすくなったため、子どもたちはもちろん来校する保護者の方からも喜ばれています。**

緊急メールによって、情報がすぐに保護者に伝わるようになり、保護者からも理解が得られています。今後は見守り隊にも加入登録を依頼し、不審者情報が地域全体に行き届くような体制を作っていきたいです。

#### カ 楽しくおいしい給食の実施

- ・ 児童生徒の喫食状況等を考慮し、学校給食摂取基準に基づいた献立作成をしています。
- ・ 衛生管理に対する意識の向上を目的とした、調理員研修会を年3回実施しました。また、県主催の学校給食調理員等衛生管理研修会などにも参加しています。センター独自の衛生管理マニュアルを作成し、全職員の共通理解を図りました。

**※栄養教諭、栄養職員が協力し、子どもたちが安心して楽しく、おいしく会食できるよう整備ができています。今後も事故が起きないように、衛生管理に関わる研修を充実させるとともに、学校においては、食育の全体計画をもとに特別活動、総合的な学習の時間等で指導を充実させていきたいと考えております。**

## (2) 社会教育課

### ■文化振興事業

#### ○七宝町文化祭 …… 町文化協会と共催

町民及び文化協会加盟の各団体の成果発表の場として、教養・文化の向上を目的として実施しました。

	開催日	参加団体 件数									場 所
		文化協会			一般公募			計			
		団体数	人数	作品数	団体数	人数	作品数	団体数	人数	作品数	
芸能祭	11月7日(土) 午前10時00分開演	7	112	—	1	29	—	8	141	—	講堂
作品展	11月7日(土) 午前9時45分から 8日(日) 午前9時30分から	12	238	392	5	133	275	17	371	667	全館(講堂を除く)

#### ○七宝夏まつり …… 町文化協会と共催

開催日時／7月25日(土) 午後5時30分～

場所／町民鷹居グラウンド

内容／パフォーマーブープのパフォーマンスショー

香田晋お宝ライブ、盆踊り大会、招福お宝抽選会

大花火大会(打ち上げ花火)(主催：七宝町まちおこし委員会)

※文化祭では町民・各団体の活動を来場者に周知するよい機会となりました。また、文化祭、夏まつりともに大勢の来場者が訪れ、文化の向上及び地域住民同士の交流の場とすることができました。

## ■成人式事業

新成人としての権利と義務の重さを自覚し、大人の仲間入りをしたことを激励・祝福する目的で実施しました。

- ・平成22年1月10日(日)〔第二日曜日〕
- ・午前10時～ 公民館講堂
- ・行事の内容：式典、記念撮影
- ・記念品：七宝焼付名刺入れ
- ・新成人(平成元年4月2日～平成2年4月1日生れ) <参加率 78.1%>
- ・町内の対象者 204人(男性103人、女性101人)  
町外参加希望者 20人(男性14人、女性6人)
- ・参加者(町外参加希望者を含む) 175人(男性91人、女性84人)

**※新成人の代表者が会を進行し、社会の一員としての自覚・責任を持ち、更なる成長を目指すきっかけとなる意義深い式典とすることができました。**

## ■家庭教育推進事業

親子でともに学びあい、共通の話題づくりのための機会の提供や休日の子どもの居場所をつくり体験活動を行うことを目的として実施しました。

○わくわく親子塾

- ・陶芸教室

開催日時／7月30日(木)・31日(金)、8月20日(木)

午前9時30分～午後4時

対象／町内在住小学生親子20組

受講者／21組

講師／七宝町陶芸同好会 会長 佐々木寛

・ペーパークイリング教室

開催日時／①9月12日(土) ②10月17日(土) ③12月19日(土)

④平成22年1月16日(土) ⑤2月20日(土)

午前10時～11時30分

対象／町内在住小学生親子18組

受講者／①8組 ②10組 ③15組 ④6組 ⑤7組

講師／横山亜矢子

・ケーキ作り教室

開催日時／①10月24日(土) ②11月28日(土) ③12月23日(水・祝)

午前10時～11時30分

対象／町内在住小学生親子18組

受講者／①19組 ②20組 ③47組

講師／製菓衛生師 松浦夕佳

○土曜こども教室

・トールペイント教室

開催日時／①6月20日(土) ②7月18日(土) ③8月15日(土)

午前10時～11時30分

対象／町内在住小学生20人

受講者／①13人 ②12人 ③3人

講師／増田千晶

・お菓子作り教室

開催日時／①5月9日(土) ②6月13日(土) ③7月11日(土) ④8月8日(土)

⑤12月12日(土) ⑥平成22年1月23日(土) ⑦2月13日(土)

対象／町内在住小学生25人

受講者／①29人 ②27人 ③12人 ④4人 ⑤14人 ⑥16人 ⑦15人

講師／ジャパンホームベイクングスクール常任理事総師範 鳥居勝美

○屋外親子映画鑑賞会

開催日時／7月24日(金) 午後7時30分～

場所／町民鷹居グランド

内容／アニメ映画「マダガスカル2」

入場者／600人

○家庭教育支援総合推進事業（学童期子育て講座）

… 小中学生保護者の希望者及び新1年生保護者を対象とする学童期・思春期の学習機会の提供

七宝小学校／10月13日(火) 午後1時～2時 七宝小学校体育館

講師：町主任児童委員 佐藤典子

参加者：95人

宝小学校／11月14日(土) 午前10時30分～11時30分 宝小学校体育館

講師：名古屋女子大学 専任講師 伊藤勝康

参加者：100人

七宝中学校／12月3日(木) 午前11時～11時50分 七宝町公民館視聴覚室

講師：愛知県教育委員会職場内研修会講師 久田哲

参加者：34人

北中学校／12月17日(木) 午後2時～3時 北中学校会議室

講師：津島市健康福祉部児童課家庭児童相談員 加藤利彦

参加者：18人

秋竹小学校／平成22年2月9日(火) 午前10時～11時 秋竹小学校体育館会議室

講師：管理栄養士 藤田美津枝

参加者：25人

伊福小学校／平成22年2月18日(木) 午後1時30分～2時15分

伊福小学校伊福プラザ

講師：町主任児童委員 佐藤典子

参加者：69人

**※参加者の子育てに関する知識取得の促進や参加者間の交流の機会となりました。**

### ■青少年健全育成事業

全校生徒及び保護者が集まる機会を活用して、中学校区青少年健全育成推進事業を行い、人間性・社会性を各自が見直す機会とし、同学区の小学校と連携して希望者の訪問を受け入れ、中学校入学前から学校内の様子を知る機会をつくりました。愛知県が主導する春夏秋冬の強調月間にあわせて町民運動を実施しました。

#### ・青少年問題協議会

5月12日(火) 9時15分～ 役場第3会議室

#### ・街頭啓発活動 1回

7月25日(土)〔七宝夏まつり会場：町民鷹居グラウンドにて〕午後5時30分から啓発用のうちわ及び2色ボールペンを来場者に配布。

#### ・街頭補導（パトロール）活動

7月31日(金)、8月28日(金)〔町内全域〕参加人数のべ15人

教育委員・町内各小中学校長・少年補導委員・町職員による非行防止と安全確認の夜間パトロールを夏休み期間中に実施。

11月25日(水)・26日(木)、12月25日(金)、平成22年1月16日(土)・17日(日)

〔町内及び周辺地域〕参加人数のべ23人

町内各中学校の教員、PTA役員及び少年補導委員が町内全域の街頭指導

と、周辺地域の大型小売店舗等のパトロールを実施。

- ・ 中学校区青少年健全育成推進講演会

11月9日(月)〔北中学校体育館〕参加者：187人

講師：命をバトンタッチする会 代表 鈴木中人

平成22年2月25日(木)〔七宝中学校体育館〕参加者：443人

講師：元日本テレビアナウンサー・記者 藪本雅子

- ・ 中学校区青少年健全育成推進事業

6月14日(日)〔七宝中学校体育館〕参加者：443人

「民族楽器・世界の旅」公演会 稲岡満男&音楽工房 代表 稲岡満男

10月23日(金)〔北中学校体育館〕参加者：187人

「走れメロス」公演会 すわらじ青少年劇場

**※継続して活動することにより青少年の健全育成に対する意識を高めることができました。**

## ■文化財保護事業

町内の文化財の活用や町民の文化の振興に寄与することを目的とし、実施しました。

### ○企画展（郷土資料館）

企画展「伊勢湾台風ー七宝はあのときー」

伊勢湾台風から50年を機に、被災当時町内がどのような状況だったかなどについて写真等を用いて紹介。期間中、前期公民館講座「海部地域の史跡巡り」の写真も展示。

開催日／11月21日(土)・22日(日)・28日(土)・29日(日)、12月5日(土)・

6日(日)・12日(土)・13日(日)・19日(土)・20日(日) の10日間

来館者数／165人

○「七宝町の史跡巡り」講座

開催日時／①12月4日(金) 午前9時30分～12時

②12月15日(火) 午後2時～4時30分

対象／町内在住・在勤者

解説者／法光寺住職、広済寺住職、町文化財保護委員及び町職員

受講者／①14人 ②16人

※企画展では、災害の恐ろしさを再認識し、忘れられようとしている災害の記憶を後世へ伝え、また防災に対する意識の高揚の機会となりました。また、地域の歴史や文化についての理解を深める機会となりました。

■公民館事業

高齢者・女性の社会参加促進のための講座や館内の設備を活用した技能・知識の取得、教養を深める講座を開催しました。

○公民館事業

講座名		対象	回数	受付け者数		延受講者数		講師等
社会教育講座	いきいき寿セミナー	60歳以上	10回		38人		243人	正念寺住職 野田 広実 他
	のびのび女性セミナー	女性	10回		51人		360人	愛知学院大学教授 加藤勇夫 他
	すくすく子育てセミナー	2歳～就園前の子と親	3回	20組	40人	139組	278人	中京女子大学教授 岡本伸子 他
公民館講座	前 手づくりパン教室(前期)	一般	6回		38人		219人	ジャパンホームベイキングスクール常任理事 絵師範 鳥居勝美
	期 海部地域の史跡巡り(前期)	一般	6回		20人		110人	ガイドボランティア、各市町の学芸員他

		異文化体験教室 (韓国編)	一般	6回		13人		55人	池 泰文	
	パソコン 講習 (前期)	ワード初 級	一般	6回		15人		81人	(株)ダブリュファ イブスタッフサ ービス	
		エクセル 初級	一般	6回		15名		84人		
		パソコン 初級	一般	6回		15名		87人		
公民館講座	後 期	手づくりパン教室 (後期)	一般	5回		43人		241人	ジャパンホーム ベイキングスク ール常任理事総 師範 鳥居勝美	
		カラーコーディネ ーション講座	一般	6回		20人		99人	カラーアナリス ト 大塚貴子	
		海部地域の史跡巡 り (後期)	一般	6回		20人		103人	ガイドボランテ ィア、各市町の学 芸員他	
		尾張の武将	一般	5回		45人		181人	愛知大学教授 山 田邦明他	
		かんたんお手軽家 庭料理	一般	6回		30人		134人	管理栄養士 山田 佳代子	
		プリザーブドフラ ワークリスマス講 座	一般	1回		11人		11人	プリフラ・スタジ オ アンジェリカ 松田えりか	
		パソコン 講習 (後期)	ワード初級	一般	6回		16人		88人	(株)ダブリュファ イブスタッフサ ービス
			エクセル初級	一般	6回		15人		80人	
			パソコン初級	一般	6回		24人		131人	
			エクセル中級	一般	6回		16人		84人	

※受講者の趣味を広げ、知識や技能の向上に寄与することができました。

#### ■スポーツ教室・講習会

親子での体操を通して、親子のふれあいと体力促進をより一層深めるために事業を実施しました。

#### ○親子体操教室 (2 教室)

場 所 総合体育館 剣道場

開催日 平成 21 年 5 月 12 日から 12 月 22 日までの火曜日 (16 回)

参加者 39 組 78 名

**※ 幼児の発達に適した運動の体験及び親子で一緒に運動することにより親子間のふれあいがよりできたと考える。**

小学生に自然とふれあい、友だちとのふれあい、協働の大切さをより一層深めるために事業を実施しました。

○小学生体験教室「小学生地引網体験教室」

場 所 知多半島 南知多グリーンバレイ周辺

開催日 平成 21 年 6 月 6 日 (土)

参加者 40 名

**※普段体験することが少ない地引網を通して、大自然のなか、友だち・仲間とふれあい、共に力を合わせて事を成すことの大切さはもとより、更には基礎体力向上に寄与できました。**

町民プール開き前に、小学生の泳力補完のために事業を実施しました。

○小学生水泳教室 (2 教室)

場 所 町民プール

開催日 平成 21 年 7 月 11 日・12 日・18 日・19 日の土、日曜日 (4 回)

参加者 146 名

**※町民プール開き前の土・日曜日に小学生を対象として、水泳教室を開催することにより、水に親しむことはもとより、基礎知識の得とくと体力・技術の向上に寄与できました。また、施設の有効利用も図ることができました。**

スポーツを通して、老若男女を問わず共に楽しめ、更には、町民の健康増進、体力向上を図るために実施しました。

○エアロビクス教室（2 教室）

場 所 総合体育館 剣道場

開催日 平成 21 年 5 月 12 日から 12 月 11 日までの火曜日 (16 回)

参加者 52 名

**※高校生以上が対象の教室ではあったが、世代間を飛び越え共に楽しむことができ、家庭で出来る手軽な運動を通して、メタボリック症候群解消と健康づくりを行い、町民の健康増進と、体力向上に寄与できました。**

スポーツを通して、老若男女を問わず共に楽しめ、更には、町民の健康増進、体力向上を図るために実施しました。

○ヨガ教室

場 所 総合体育館 剣道場

開催日 平成 21 年 5 月 14 日から 7 月 2 日までの木曜日 (8 回)

参加者 35 名

**※高校生以上が対象の教室ではあったが、世代間を飛び越え共に楽しむことができ、精神面の整調、体の柔軟性・筋力の高揚に寄与できました。**

子ども会等が行う夏休み中のラジオ体操を前に、指導していく上での細やかな指導・講習を実施しました。

○ラジオ体操指導者講習会

場 所 総合体育館 アリーナ

開催日 平成 21 年 6 月 28 日 (日)

参加者 101名

**※基本的な体操であるラジオ体操を今一度見直し、指導者の育成・ラジオ体操にふれあう機会に寄与できました。**

社会体育施設使用団体のリーダーを集め、講演会、社会体育施設利用説明等を行い、リーダーとしての資質の向上を図るために実施しました。

○クラブリーダー講習会

場 所 総合体育館 卓球室

開催日 平成22年2月28日（日）

参加者 150名

**※各界の著名人を招き講演会を開催し、リーダーとしての資質の向上に寄与できました。**

■スポーツ行事・大会

親子のふれあい、ニュースポーツ紹介のために事業を実施しました。

○わんぱく体操まつり

場 所 総合体育館 全館

開催日 平成21年5月17日（日）

参加者 369名

**※ニュースポーツ等の体験を通して、町民のふれあいや、健康増進と体力向上に寄与できました。**

基本的な体操であるラジオ体操をもう一度見直してもらい、老若男女を問わず共に楽しめ、更には、町民の健康増進、体力向上を図るために実施しました。

○ラジオ体操の集い

場 所 七宝焼アートヴィレッジ ふれあい広場

開催日 平成 21 年 7 月 19 日 (土)

参加者 360 名

**※基本的な体操であるラジオ体操を今一度見直し、ラジオ体操にふれあう機会に寄与できました。**

スポーツを通して、健康づくり、体力づくり及び地域の融和と親睦を図るため、誰もが気軽に参加できる大会を実施しました。

○町民体育大会

場 所 町民鷹居グラウンド

開催日 平成 21 年 10 月 11 日(日)

参加者 2,959 名

**※町民の健康増進・町民相互の融和と親睦を図ることに寄与できました。**

スポーツを通して、日頃の運動不足の解消とともに、町民の健康増進、体力向上を図るために実施しました。

○走ろう・歩こう会

場 所 町民鷹居グラウンドと周辺道路

開催日 平成 22 年 2 月 7 日(日)

参加者 716 名

**※コースを走ったり、歩いたりしながら参加者自身の体力に合わせて完走・歩を目的に町民のふれあいや、健康増進と体力向上に寄与できました。**

各種競技種目のスポーツを通して、町民の体力向上・相互の親睦を図るために各種大会や教室を実施しました。

○体育協会採択事業

親子バドミントン教室始め、7事業に913名の参加がありました。

**※老若男女問わず共に楽しむことができ、更には、町民の健康増進と体力・技術の向上ができました。**

愛知県内全市町村参加により、第4回愛知県市町村対抗駅伝競走大会が開催されました。

○愛知県市町村対抗駅伝競走大会

愛知県60市町村の参加により平成21年12月5日第4回駅伝大会が、「愛・地球博記念公園」内で開催され、町村の部において9位（前回21位）で、前年に引き続きモリコロ賞（地球産業文化研究所賞）を獲得しました。

**※七宝町として参加する最後の大会でもあり、町の代表として監督、選手一丸となり一本のタスキをつなぎました。また、愛知県内全市町村との交流を図ることができました。**

■スポーツに親しむことができる環境整備

○総合型地域スポーツクラブの創設準備

体育指導委員、体育協会、スポーツ少年団及び各種スポーツ団体など関係機関と連携を図り、創設に向けて研究を行いました。また、総合型地域スポーツクラブが未育成の市町村を対象とした愛知県広域スポーツセンター事業である、『総合型地域スポーツクラブ創設研究会』へ担当が参加して創設に向けて研究を行いました。

**※総合型地域スポーツクラブ創設研究会への参加で創設に向けて研究に取り組みました。**

○スポーツ情報の提供

スポーツに関する情報は、半期ごとに町内に配布される「生涯学習ガイド」をはじめ、広報しっぽう、大字掲示板、ホームページ、CATV、新聞等を活用して、広く町民に提供しました。スポーツ少年団団員募集や、小学生対象の事業においては、各小学校を通して行いました。

**※各種のスポーツ情報を多様な媒体を通して、広く周知できました。**

■社会体育施設の基盤整備

○体育館バスケットゴール設置工事

バスケットボール競技人口・団体の増加に伴い、バスケットボールゴールの増設と床面にバスケットボールコートのライン敷設工事を実施し、施設の有効利用を図りました。

事業内容      バスケットボールゴールの設置と床面にバスケットボールコートのライン敷設

事業費        2,310,000円

**※この工事を実施したことにより、体育館の有効利用が図られました。**

○体育館柔道場畳取替え委託

磨耗等により痛んだ畳は、畳表のみ張り替えて急場をしのいでいたが、体育館開館以来畳の取替えをしておらず、畳床の劣化による畳表の凹凸、異臭の発生など畳表の張り替えでは対応できない状況に陥っているため、畳の取替えを行って

安心・安全と衛生的に利用できるように努めました。

事業内容 柔道場の畳取替え

事業費 3,706,500円

**※畳の取替えを実施したことにより、柔道場の環境整備が図られました。**

### (3) 学校給食センター

#### ■ 学校給食事業

##### ○ 各組織との連携

##### ① 海部地方現職教育研究・家庭科教育部会の研究との連携

研究題目を「よりよい食生活を主体的に創り出そうとする子の育成」―残菜ゼロ大作戦、宝ランチを考えよう！―とした研究に参加しました。

実践は、宝小学校の6年生で行われました。ねらいを、自分の食生活を見直し、将来に向けて主体的に食生活を創り出すことのできる子の育成としました。家庭科授業や総合的な学習の時間を通し、給食の献立1食分を考え、調理できることを目指しました。そして、児童が考えた献立を実際に給食センターで料理し、給食に取り入れました。栄養教諭が、給食センターでの作業の様子や献立の組み合わせ方などを話しました。

**※児童の献立を給食に取り入れたことで、給食に対する関心を高めさせることができました。また、保護者の学校での食教育や給食への意識を変化させることもできました。**

##### ② 学校保健委員会への参画

給食を取り入れながら、食に関連する部分を担当しました。学んだ知識を日常生

活へ生かせるように保健主事や養護教諭などと協議を重ね実践しました。

七宝小学校「自分の健康を考えて、よりよい食生活を送ることができる子の育成」、  
伊福小学校「正しい生活リズムで元気なからだ」、北中学校「健康な生活習慣づくり  
ができる生徒の育成」

**※日頃の子どもの様子や給食の残量から、食に対する意識の変容が見られました。**

③ 食に関する指導の実践

全小中学校の全クラスを1回以上訪問し、発達段階に応じた内容で指導を実施しました。

また、指導技術向上を目的として、東ブロック栄養教諭・学校栄養職員研究協議会主催の授業研究会を七宝小学校において開催し、授業力の研鑽を図りました。

**※実践の様子が県発行の平成22年度版「あいち食育いきいきレポート」に掲載予定です。また、授業研究会実施の結果、改善点を把握することができ、指導力を高めることができました。**

④ 料理コンテストへの応募

豪州食肉家畜生産者事業団主催の「第9回オーギー・ビーフ料理コンテスト」にメニューを応募したところ、優秀賞を受賞しました。

**※外部団体主催の料理コンクールなどを活用し調理技術の向上を図ることができました。**

○学校給食センターの活動状況

開催日	行事名
平成21年 4月 8日	平成21年5月分献立打ち合わせ会
4月16日	平成21年5月分物資選定会
5月 1日	平成21年6月分献立打ち合わせ会

5月15日	平成21年6月分物資選定会
6月5日	平成21年7月分献立打ち合わせ会
6月17日	平成21年7月分物資選定会
7月3日	平成21年9月分献立打ち合わせ会
7月16日	給食センター運営委員会
7月30日	平成21年9月分物資選定会
9月4日	平成21年10月分献立打ち合わせ会
9月15日	平成21年10月分物資選定会
10月2日	平成21年11月分献立打ち合わせ会
10月14日	平成21年11月分物資選定会
11月6日	平成21年12月分献立打ち合わせ会
11月17日	平成21年12月分物資選定会
12月4日	平成22年1月分献立打ち合わせ会
平成22年1月8日	平成22年2月分献立打ち合わせ会
2月4日	平成22年3月分献立打ち合わせ会
2月26日	給食センター運営委員会
3月4日	平成22年4月分献立打ち合わせ会

○ 学校給食センターの活動状況（3地区合同開催）

開催日	行事名
平成21年12月14・15日	平成22年1月分物資選定会
平成22年1月14・15日	平成22年2月分物資選定会
2月15・16日	平成22年3月分物資選定会
3月16・17日	平成22年4月分物資選定会

## 6. 学識経験者による意見

学識経験者名	鷺尾秋香（秋竹小学校評議員・民生委員）
<p>学校教育の基本方針については、冒頭に七宝町の方針がしっかりと定められてお</p>	
<p>り、その上に町内各校の学校経営方針を全面的に支援することをはっきりと示し</p>	
<p>ている。このことは、基本的な姿勢としてきわめて適切である。</p>	
<p>具体的な取り組みの中で、</p>	
<p>1 児童生徒が学習に取り組むために、支援員を配置すること、個に応じた指導を</p>	
<p>実施するためにT T指導員を配置すること、また、心の教育の推進のために中学校</p>	
<p>に心の教育相談員を配置すること、小中学校全学年にA L Tを配置することなど、</p>	
<p>人的な推進体制を確立していることを高く評価するとともに、心の教育推進につい</p>	
<p>ては小学校への配置も是非実現されたいものである。</p>	
<p>2 教育効果を上げるためには、学校・家庭・地域の三者がしっかりと連携・協力</p>	
<p>していくことが大切であるが、開かれた学校の実現を目指し、さまざまな事業を展</p>	
<p>開していることは評価に値する。老人会を中心にした「見守り隊」も450名もの</p>	
<p>地域の人達が活躍されていることは、素晴らしいことである。このような地域の</p>	
<p>人材の活用はもっともっと多岐にわたって展開できる可能性があると思われるの</p>	
<p>で、更に一層の実践を期待するものである。</p>	
<p>3 学習環境の充実については、多くの改修工事やI C T環境機器の購入などが行</p>	
<p>われているが、どの工事にどれくらいの費用がかかっているかが明示されている</p>	
<p>と、費用対効果が分かりやすいのではないかと思われる。</p>	
<p>4 虐待について、2009年の相談件数は全国で約4万4千件あり、2002年の実に</p>	
<p>40倍以上に増加している。この大きな社会問題になっている虐待についてどの</p>	

ような方針で対応しているのかが触れられていないのが残念である。入学前の乳幼児が被害の対象になる場合が多いが、小中学生でも被害を受けている例は少ない。被害を受けていると思われる子どもを、早期発見することが、被害を少なくするためにもっとも大切だと思われるが、学校はそのための大切な場になると考えるからである。学校を含めた大きなネットワーク作りが必要なのではなかろうか。

次に、社会教育について述べてみよう。増え続ける高齢者への対策として文化・スポーツ活動への参加促進と援助はきわめて重要な問題である。

1 文化振興事業については、文化協会との協同という形で、文化祭や夏まつりに大きな成果を上げている。日ごろから公民館を中心とした場で、活動している文化協会所属の団体は、本町の文化活動の中心的な存在であるので、今後も大いにバックアップしていく必要があると思われる。

2 郷土資料館の運営については、きわめて低調であったといわざるを得ない。年間の開館日数が極めて少なく、利用者もごく少ない。立派な建物があるのだから、文化財保護事業の枠にとどまらず、もっと幅広い活用が望まれる。

3 現在、高齢者の間で、取り組むスポーツとしてもっとも人気があるのは、グラウンドゴルフであろう。場所の提供や団体への援助について、過去の実績等にとらわれず、柔軟に対応していく必要があるのではなかろうか。